



住みよい町づくりへ
議会と住民をつなぐ

第**57**号

平成25年4月17日

河津町議会だより



河津躰子滝見橋

主な内容

●平成25年第1回定例会（主旨）	2 P
●予算審査特別委員会	3 P
●町長施政方針及び行政報告	4～5 P
●議案説明	6 P
●一般質問	7～11 P
●一部事務組合議会報告	12～13 P
●議会の主な活動報告	14 P

平成25年 第1回定例会 (要旨)

3月6日より15日まで10日間の会期で開催された。

議長の諸般の報告につづき、町長の施政方針と行政報告、5人の一般質問が行われた。議案は専決処分の報告2件、人事案件3件、条例制定6件、条例改正10件、指定管理者の指定案件6件、規約の変更4件、町道路線の認定1件、変更1件。24年度補正予算5議案、25年度予算9議案を審議し、議案42件、報告2件、諮問1、同意2を原案可決承認した。

なお平成25年度予算は予算審査特別委員会に付託し審査され3項目の意見書を附帯した。

可決した平成25年度予算 (単位千円)

○河津町一般会計予算	3,700,000
○河津駅前広場整備事業特別会計予算	4,638
○河津町土地取得特別会計予算	625
○河津町国民健康保険特別会計予算	1,321,677
○河津町介護保険特別会計予算	765,571
○河津町後期高齢者医療特別会計予算	93,467
○河津町国民宿舎「かわづ」運営事業特別会計予算	7,500
○河津町水道事業会計予算	375,872
○河津町温泉事業会計予算	121,558

可決した平成24年度補正予算 (単位千円)

○一般会計補正予算 (第8号) 歳入歳出 ……55,452減額 総 額 ……3,654,676	○河津町介護保険特別会計補正予算 (第4号) 歳入歳出 ……6,979追加 総 額 ……770,479
○土地取得特別会計補正予算 (第1号) 歳入歳出 ……278追加 総 額 ……640	○後期高齢者医療特別会計補正予算 (第2号) 歳入歳出 ……4,564減額 総 額 ……94,916
○国民健康保険特別会計補正予算 (第2号) 歳入歳出 ……18,591減額 総 額 ……1,363,655	

議員発議

- 発議第1号 河津町議会委員会条例の一部を改正する条例
- 発議第2号 河津町議会会議規則の一部を改正する議会規則
- 発議第3号 国道414号(河津～天城湯ヶ島間)の登坂車線整備促進に関する意見書

◆ 予算審査特別委員会 ◆

予算審査特別委員会は平成25年度予算9件につき、3月11日12日13日14日の4日間各課の予算説明を受け審査した。

予算審査特別委員会

- 委員長……………萩原清男
- 委員……………小林和子、土屋 貴、渡邊 弘、吉田重好、
稲葉 静、川下英一、宮崎啓次、山田 勇、
土屋栄太郎、坪井弘司

予算審査特別委員会の意見

- (1) 伊豆縦貫自動車道河津ICの完成に備え、町の活性化構想に着手されたい。
- (2) 総合計画にも示されているが、小学校の統合計画について、前向きに検討されたい。
- (3) 町民の健康管理と国保会計の安定を図るため、予防医療に積極的に取り組まれたい。

議員月例会

1月29日

- (1) 地方自治法の一部改正に伴う「河津町議会委員会条例」の改正案について
- (2) 地方自治法の一部改正に伴う「河津町議会会議規則」の改正案について
- (3) 下田地区消防組合の規則変更に伴う組合議員について

2月28日

- (1) 風力発電の進捗状況について(業者説明)
- (2) 町長より、大滝遊歩道事業地区説明会の報告をうける。

町長の施政方針及び行政報告 (抜粋)



施政方針

現下の経済情勢は、先行き不透明であり、町税収入の伸びは期待できない。一方で、社会保障関係経費や義務的経費の増大が避けられない状況にある。規律ある財政運営を堅持する方針のもと、第4次総合計画の着実な推進と喫緊の課題に対応するため、5つの重点テーマを設定して、諸政策の実現に取り組む。

○一人ひとりが輝くまちづくり
子ども・子育て支援法に基づく事業計画策定に向けた基礎調査を実施する。児童関連施設整備構想の検討に着手する。県の子育て理想郷モデル事業を継続して実施する。

○豊かな必身を育むまちづくり
河津中学校校舎の耐震補強計画を策定し耐震化に向けて取り組む。

○地域資源を活かしたまちづくり
河津七滝ジオサイトの施設整備を行なうとともに、ジオパーク観光おもてなし人材育成事業を実施する。平成26年に東伊豆町と河津町で開催される全国カー

ネーション静岡大会の場を利用して全国にPRを行う。

新ブランド創出事業として商工会が実施する河津グルメ&魅力発信の事業に助成する。

○豊かで快適なまちづくり
津波対策として、河津城址公園遊歩道中腹に確保した一時避難場所に防災倉庫を設置する。県の第4次被害想定を受けて、地域防災計画を策定する。伊豆縦貫自動車道（河津下田道路）の開通後を見据え地域振興策の検討に着手する。

○共働のまちづくり
各地区との共働事業である原材料支給の実施をはじめ、行政と町民が役割に応じてまちづくりに参画できるよう取り組む。

○平成25年度当初予算の概要
一般会計、特別会計及び企業会計の歳出予算の総額で61億2,640万8千円である。うち、一般会計は37億円である。

歳入は、自主財源は前年比3.1%の増。依存財源は前年比5.6%の増である。歳出は義務的経費は減少したが、物件費は増加、経常的経費は前年比3.7%の増。投資的経費も前年比11.7%の増となった。

○総務課関係事業
町地域防災計画の策定と防災マップを各戸配布する

予定。防災無線のデジタル化を前倒し実施する。25年度中は、無線機51台を更新する。第1分団の可搬ポンプ積載車を更新する。

○まちづくり推進課関係事業
マイクロ水力発電設備を3ヶ所に設置し、停電時の避難場所での電源確保を図る。EV急速充電器を観光交流館前の駐車場に設置する。河津バガテル公園内に温室を作るとともに、風土の森のゾーニング計画を策定する。

○町民生活課関係事業
河津町一般廃棄物処理計画の見直しを行なう。エコクリーンセンターに直接持込する利用料金を平成25年10月1日から改正する。

○保健福祉課関係事業
児童関連施設整備構想を検討する委員会を立ち上げる。待機児童対策として認可外保育料助成事業を始める。健康づくり事業として、「ふじ33プログラム実践教室」を開催し、生活習慣の改善を図る。

○産業振興課関係事業
鳥獣害対策として、イノシシとシカにも報奨金を支払う。観光施設整備事業として、河津七滝ジオサイトを整備するため、観光とジオパークの融合を図る。サンシップ今井浜に替わって、体験型施設として地元と協

議する。河津桜保護育成計画「河津桜守人マスタープラン」を策定する。

○建設課関係事業
道路維持改良事業として、町内各所の要望に対処して、道路機能の維持に努める。町内の104橋の点検調査が終了したので、緊急優先順位により長寿命化に着手する。水道事業は、送配水管及び配水池の耐震化を図るための事業を計画する。

○教育委員会関係事業
さくら幼稚園の園児やグラウンドの児童が迅速に非難できるように南小学校のドア改修等を行う。河津中学校の耐震補強に取組むとともに、西・南小学校のプールの修繕・改修を行う。

行政報告

○津波避難対策
河津城址公園歩道沿いに一時避難場所を確保するとともに幅員2mの拡幅を実施した。

○災害用避難施設整備事業
各自主防災組織が避難路等整備する補助制度については、田中・下峰・谷津・見高浜の4地区で実施した。

○防災メールの導入
災害情報や気象情報を迅速かつ正確に伝達するため、防災メール配信システムを導入した。

○津波避難訓練
3月24日に逆川、長野、見高入谷を除く下河津地区で津波避難訓練を実施する。

○消防ポンプ車購入及び消防施設整備事業
消防団第6分団可搬ポンプ積載車を更新し、3月15日に引き渡す。

○消防団協力事業所表示制度
昨年3月制度化したこの制度は、24事業所から申請があり、表示証を交付した。
○町ホームページのリニューアル
3月4日から公開。「暮らしの情報」「事業者向け」「観光情報」「行政情報」の4つの区分を設けた。また、バナー広告掲載欄を設けた。

○小水力発電事業
上佐ヶ野公民館横の用水を利用する小水力発電整備工事に着手した。

○姉妹都市提携30周年事業
平成25年2月19～20日、白馬村長他91名が訪問。河津桜まつり、峰温泉大噴湯公園等を見学した。

○町税の収納状況
1月末現在で、町税全体は7億136万円で前年比0.04%減、滞納繰越分は2,259万4千円の収入で前年比58.8%の増。国民健康保険の収納状況は、現年課税分2億1,855万5千円前年比0.07%減、滞納繰越分1,650万円前年比12.5%の減。

○行政相談員
委員を1名増員して2人体制にする。

○戸籍事務関係
戸籍の正・副本の同時滅失を防止するため、法務省

が構築する管理システムと接続する。本年9月末稼働を予定。

○特定検診
40歳から74歳までの対象者2,323人に対し579人が受診した。75歳以上の後期高齢者1,507人に対し267人が受診した。受診率向上を目指したアンケート調査も行った。

○第15回河津桜ツーデーマーチ
2月9・10日伊豆東浦路コースは参加者372名、ジオサイトコースは421名、2日間で793名が参加。

○第23回河津桜まつり
2月5日に始まった第23回河津桜まつりは、B級ご当地グルメ大集合・河津桜ミニコンサートのイベントを開催し来客者の増加に努めた。3月11日から17日までの期間は「かわづ“春うらら”まつり」を開催する。

○河津平安の仏像展示館
先月20日に開館した3月5日までの13日間に1,502人が入館した。

○社会体育事業
元旦マラソン大会は、240人の参加を得た。1月20日に開催された第41回下田河津間駅伝大会は75チームが参加。河津中学校女子が大会新記録で優勝し、7連覇を達成した。

○小・中学校施設改修計画
小中学校施設改修計画は、2月18日に完了し、具体的な計画を策定した上で改修を進めていく。

平成25年第1回定例会 議案審議

○報告第1号 専決処分

車両事故による損害賠償

○報告第2号 専決処分

車両事故による損害賠償

○諮問第1号

人権擁護委員の推薦

梨本 坪井由里子氏（再任）

○同意第1号

監査委員の選任

谷津 板垣光彦氏（再任）

○議案第1号

河津町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例の制定

○議案第2号

河津町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例制定。

○議案第3号

河津町が管理する町道の構造の技術的基準等を定める条例の制定

○議案第4号

河津町準用河川に係る河川管理施設等の構造基準条例の制定

○議案第5号

河津町都市公園の設置基準に関する条例の制定

○議案第6号

河津町水道事業給水条例の一部改正

○議案第7号

河津町手数料徴収条例の一部改正

○議案第8号

河津町消防団員等公務災害補償条例の一部改正

○議案第9号

河津町税条例の一部改正

○議案第10号

河津町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定

○議案第11号

河津町温泉会館の設置及び管理運営に関する条例の一部改正

○議案第12号

河津町漁港管理条例の一部改正

○議案第13号

海岸保全区域占用料及び土石採取料徴収条例の一部改正

○議案第14号

河津町道路占用料徴収条例の一部改正

○議案第15号

河津川普通河川条例の一部改正

○議案第16号

河津町都市公園条例の一部改正

○議案第17号～第22号まで

公の施設の指定管理者の指定

○議案第23号

賀茂地区障害者計画等策定・推進協議会規約の一部変更

○議案第24号

賀茂地区障害者相談支援事業運営協議会規約の一部変更

○議案第25号

賀茂地区障害認定審査会共同設置規約の一部変更

○議案第26号

静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約変更

西伊豆広域消防組合を削る

○議案第27号

町道路線の認定（峰、大窪外野線）

○議案第28号

町道路線の変更（峰三良助大平線）

平成24年度補正予算

○議案第29号

平成24年度一般会計補正予算
（第8号）

○議案第30号

平成24年度土地取得特別会計補正予算（第1号）

○議案第31号

平成24年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

○議案第32号

平成24年度介護保険特別会計補正予算（第4号）

○議案第33号

平成24年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

平成25年度予算

予算審査特別委員会付託

○議案第34号

平成25年度一般会計予算

○議案第35号

平成25年度駅前広場整備事業特別会計予算

○議案第36号

平成25年度土地取得特別会計予算

○議案第37号

平成25年度国民健康保険特別会計予算

○議案第38号

平成25年度介護保険特別会計予算

○議案第39号

平成25年度後期高齢者医療特別会計予算

○議案第40号

平成25年度国民宿舎「かわづ」運営事業特別会計予算

○議案第41号

平成25年度水道事業会計予算

○議案第42号

平成25年度温泉事業会計予算

追加議案

○選挙第1号

伊豆斎場組合議会議員選挙
当選者 坪井弘司氏

○同意第2号

副町長の選任
川津筏場 齋藤公紀氏

一般質問

平成25年度予算編成の主要事業の考え方

町長－5つのテーマに沿って重点的に配分した

質問…5つの重点テーマをもった予算編成は、主要事業がどのような考えで、予算化されたか。

町長…一般会計の規模は、前年比4.7%増の37億円です。重点テーマの災害対策の強化は、行政無線デジタル化対応、防災倉庫の設置、備蓄品の配備、誘導看板の設置等を予定。子育て支援は、児童関連施設整備構想の策定に取り組む。観光交流産業振興は、河津七滝ジオサイト整備と人材育成に取り組む。食と農業による地域活性化は、町内生産の花を觀賞できる温室を河津

バガテル公園に整備、河津グルメ&魅力発信事業に支援する。伊豆縦貫自動車道を生かした地域振興は、商業施設だけでなく幅広い視野で、情報収集をし取り組みたい。

まちづくり推進課長…第4次総合計画に乗って、ローリング調査をしヒアリング形式で事業の推進をしたい。質問…手狭になっている施設、老朽化の施設、なども考慮し、今後総合町民センター等は考えられるか。

町長…建設場所、事業費、管理方法など含め今後検討をしたい。

道路整備計画の推進は

町長－予算の配分された時の受入態勢を作っていく



開通した田中バイパス

質問…橋、道路の安全対策は、どんな状況か。

町長…橋梁長寿命化計画の策定に基づき、計画にそって工事を進める。

建設課長…道路、河川は、月1回パトロールを実施。

緊急性の高い順に対応。

質問…田中バイパスが役場まで開通した。笹原までつながる工事計画は。

建設課長…都市計画決定道路浜峰線とし、現在田中地区間が未施工だが、引き続き事業実施に向け関係各位のご理解とご協力をお願いしていく。質問…関係の地権者の皆様、関係団体も含めご理解が不十分で計画が中断する様な事は避けてほしい。建設課長…現在事業執行に



渡邊 弘 議員

については、全線の関係地権者様の100%同意が必要であり、工事に着手する事になっております。

観光振興に文化財等の活用を

町長－地域資源歴史資源を活かす



河津平安の仏像展示館オープン

質問…交流人口の増のためにも、着地型観光の推進をしてほしい。

町長…河津平安の仏像展示館の開館で、仏像展示館を見て良かったとの話しを聞きます。河津の資源活用する為に地域支援活用事業の補助制度も利用し、皆で取り組んでいきたい。

産業振興課長…文化財、遺跡、花など多くの資源を活用し、町めぐり企画などウォーキングルートづくりも含め取り組みたい。

南中学跡地活用に複合施設は

町長－総合的な観点から検討

質問…旧南中学の土地は、地権者が文教施設を条件に提供された。中学統合後30年経過した跡地について、子育て支援を含めた児童会館的機能や商工会館の耐震化の問題もあり、商工会及び利用率の高い3階のコミュニケーションセンターの移転、多目的ホール等を含む津波の避難ビルの複合施設の考えは。

町長…25年度福祉的な施設を整備する構想に入る。適地か含め、財源の問題、管理運営方法、建蔽率、容積率等総合的な観点から検討を進め結論を出す。津波避難ビルの確保も非常に重要な課題になる。

質問…商工会の移転についての考えは。財源の問題は民間の資金をご提供願ひ、民間施設との複合施設も考えられないか。

町長…移転については商工会から話があれば対応する。商業地の事も視野に置き、町民の利便性等総括して検討し進める。



旧河津南中学校跡地（約3,000㎡）

新たな河津ブランドの構築は

町長－グルメ、地域資源を情報発信

質問…現在進行しているブランド化は。また構築は。

町長…25年度に河津桜の植栽保護計画の元となる育成計画を策定し、河津桜ブランドをしっかりと守っていく。商工会で河津グルメ&情報

発信の事業に取り組んでいる。ワサビ、カーネーション等の地域資源やグルメを有効に活用して情報発信をしていきたい。

産業振興課長…河津グルメは商工会が経済産業省の補助事業を受けて、伊豆急、東急電鉄と連携し展開している。食の河津ブランドの構築、河津桜に頼らない通年観光地を目標とした観光プロモーション活動である。



宮崎啓次 議員

ごみの減量化への考えは

町長－生ごみ水切り他、周知する

質問…ごみの減量化対策は。

町長…東伊豆町と河津町はごみの量で負担割合を設定している。ごみの収集から処理まで約2億6,800万円余り負担している。10月1日から持込みごみの料金改正、生ごみの水切り等町民の皆さんに周知していく。

町民生活課長…持込みごみは近隣市町との手数料の格差の是正を目的に手数料改正。河津町のごみの総量の85%は生ごみなど可燃ごみである。生ごみの80%は水分であり、水切りをしていただき減量に努めたい。



第4次総合計画実施の決意

町長－未来開くため全てを注ぎ込んでやる

質問…第4次総合計画実施に向けた決意と、3次計画の反省と検証は。

町長…合併後55年経過し人口減少・少子高齢化など町を取り巻く環境は変り、限られた予算で、町民・各種団体企業と共有しあい輝かしい未来を開くため全てを注ぎ込む決意である。

質問…実施には町民への協

力や広報が必要で町の職員にも目標達成するため指導指示すべきでは。

町長…広報活動を実施し、触れあい町長室も実施しているがタウンミーティング的な地区の意見交換したい。3次の反省は、事業項目達成率を評価し、職員に遂行するための指導を徹底させたい。

総合計画大綱とは

質問－大綱に沿った各課の事業理解度、予算化は。

総務課長…豊かで快適な町づくり、安全安心な防災意識の高揚、津波対策を実施。

町民生活課長…社会保険制度の意識の高揚で重症化、健康長寿事業を進める。又自然、生活環境を大切に保全育成に努める。

保健福祉課長…健康福祉、地域医療の充実と福祉、障害者、高齢者、介護保健計画を実施し、健康福祉計画、次世代育成支援対策計画を樹立し進める。

産業振興課長…地域資源を活かした町づくり。農林水産振興の諸問題対策と歴史的に価値ある資源の活用で農業、漁業と連携を図りつつ交流人口を増加したい。

建設課長…有効な土地利用

生活基盤環境の充実や都市計画マスタープラン、都市計画決定道路、街路、道路橋梁長寿命化の整備を進める。水道事業は耐震化を図り、安定供給を確保し、温泉事業は平成28年3月に終了するので引き続き実施するよう検討している。

教育委員会事務局長…幼小中の学校教育の充実で各校の整備改修計画を策定し事業を進める。社会教育の生涯学習は文化、スポーツ、レクリエーション等いつでもどこでも誰でも参加できる事業を継続して実施を進める。

質問…定住人口7,700人交流人口200万人を見込んでいるがその対策は。



土屋桑太郎 議員

まちづくり推進課長…子供環境、健康長寿のまち、住み良い町づくりを目指し、人口増加を図ると共に企業誘致、産業振興により確保して行きたい。交流人口は河津桜の保護育成計画を策定し町づくりの核とし、伊豆半島ジオパークの観光資源や町内の遺跡・文化・滞在型市民農園事業など実施する。

花のまちかわづとは

質問－年間通じた花のまちか、産業振興のうえからの花卉栽培型のまちづくりか。

町長…花卉栽培型農家育成を図りつつ鑑賞花園を設置し花の町を育成したい。

質問…桜の開花期は気候にもよるので早咲き桜の植栽も必要では。

町長…この桜は成長の伸びが悪いとの事だがポケットパーク的構想もあり、正月桜など早咲き桜の植栽ができれば検討したい。

介護予防の現状と充実について

町長－介護資格をもつ人の人的確保を考え対応していきたい

質問…現在の介護保険制度には問題が多くある。町は国・県に意見を述べるべきである。特養の施設整備計画のない中で入所待機の方の状況はどうか、その方々への対応は新年度どうするか。

町長…高齢者自身が生涯元気でいられる様積極的に支援する事業を行っていく。

保健福祉課長…25年1月の入所希望者は63名。そのうち賀茂地区の施設に49名の方が入所。25年度は特養の新規増設が見込まれないので入所希望の方は居宅や他の施設利用での介護サービスを受けていただくような形をとっていただきたい。その方々への十分な基準のサービスは提供していると考えている。

質問…25年度の介護予防事業は。

保健福祉課長…65才以上の方に調査を実施し、その健康状態を把握して、2次予防教室と1次予防教室を開き、参加を促している。又、朝夕JA有線テレビではつつ健康体操を放映している。介護保険申請前の方でひとり暮らしの方などを対象に生き生きデイサービスを実施。他に介護予防に取り組んでいるグループもある。25年度は新規に40才以上の方を対象に介護予防ボランティア育成コースを設ける。各教室の補助や、地域の介護予防リーダーの育成を目指すものです。介護が必要となるその原因を早期発見、改善するために各種研修などは重要である。

学校給食の安全と充実について

質問－地元食材の放射能検査の手順と報告はどうしているか。

教育委員会事務局長…学校給食の食材の放射能測定の実施要領では東北、関東、新潟、山形、長野各県で生産された農作物について検査をするという指針がある。そこで対応している。その結果は県教委はHPで掲載、全て不検出。町内食材も不検出。この検査は下田高校



小林和子 議員

へ直接持ち込み、粉碎した状態にし検査を実施。保護者には前月分の結果を給食だよりに報告している。

質問…給食は食育でもある。町内での食物アレルギーをもつ児童にどう対処しているか。教職員の情報共有など、安全を保つ努力はされているか。

教育委員会事務局長…対象児童は12名いる。アレルギー原因となる食材が多く、動物性たく白質が不可という数人は弁当を持参している。他の方は個別にアレルギーなので、事前に保護者、学校に食材の種類を記入した献立表を配布し、そのおかずを食べないようにしている。除去食の提供は現センターの状況では難しい。情報の共有は養護教員中心に全職員が周知するよう会議を逐次行なっている。



学校給食センター調理室

放射能検査機

教育の基本方針は

教育長－生きる力、地域社会、社会教育

質問…子供の生きる力、勇気を身に付け、伸ばすように教師の資質向上を図るには。

教育長…生きる力の柱は、学力・体力・協力です。学力とは自ら考え、解決する力です。規則正しい生活習慣を身に着ける事から始まる。体力とは筋力や持久力です。協力とは、集団生活を経験し協力する態度を身に着ける事です。

質問…静岡県はコミュニティスクールを推進するようだ。地域社会との協力体制はどう考えているか。

教育長…学校とそれぞれの家庭との信頼関係は構築されている。学校だよりは、各家庭だけでなく、区長・民生委員等にも配布している。授業にも参加できるよう考えている。とくにお年寄りとの交流を大切にしたい。

質問…社会教育にも重点的に取組むとある。文化やスポーツ等の交流は。

教育長…基本的には前教育

長の活動を継承する。文化協会には、人的支援を含め支援する。体育協会は、加盟構成団体が増えるなど、活発に活動し充実している。子供太鼓、どんと焼きなどの行事は、子供の育成にかかわる行事である。地域の活動にかかわることで町民と共に見守りたい。

町長の政治姿勢は

町長－公約の実現に取り組む

質問…予算編成方針における第4次総合計画とどう関連しているのか。

町長…目標には、行動目標と数値目標がある。重点テーマを職員に意識徹底させる。

質問…予算編成時によく言われる「費用対効果」をどう考えているか。県は予算編成時どうしているか。

町長…町の予算編成において、目標達成する方策を複数出させそれぞれのメリッ



土屋 貴 議員

トデメリットを比較し最善案を取っている。

副町長…県は平成9年から、異業務多角企業として取り組んでいる。かつて業務棚卸表、現在の施設展開表で管理している。予算査定をする上で、過去の実績をどう捉えていくかが重要だと考える。個々の事業の一つの結果・推移を確認し、変化に対応出来る。そのことが、行政サービスの改善に繋がり、評価に繋がる。

質問…相馬町長は最終年度を迎えるに当たり、就任時の公約をどう達成するしていくのか。

町長…共生、共創、共働の基本姿勢は変わらない。町民党としてまちづくりを推進する。公約については、最重点の子育て支援策において一定の成果をあげている。来年度には、子育て支援する施設整備も検討する。未達成の多目的文化施設や湯治とりハビリ施設の誘致等は今後検討する。残り1年実行に移すべく25年度予算を組んだ。着実に公約実現に向けて進めていく。



文化の家（教育委員会）

一部事務組合報告

下田地区消防組合議会

2月26日に定例会が開かれた。平成24年8月1日から25年1月31日までの事業報告がされた。

火災発生件数は12件で、地区別では、下田市9件、河津町2件、南伊豆町1件である。損害額は11,094千円となった。

救助の出動件数は、30件で、下田市13件、河津町5件、南伊豆町12件である。出動の主たる要因は、交通事故6件、水難5件である。

救急出動件数は、1,548件。搬送人員は1,445人。搬送先は下田メディカルセンター538人、伊豆今井浜病院255人、河井医院79名で

ある。管外医療機関への搬送は286人全搬送人員の23.8%を占めた。

ドクターヘリの搬送要請件数は95件で、92名傷病者が搬送された。搬送人員は脳疾患24人、循環器系28人、外傷性30人で、順天堂静岡病院へは119人である。応急処置技術講習は7回開催された。延べ80人が受講した。

予防業務は防火対象定期点検報告制度及び自主点検報告表示制度の対象となる79施設と、社会福祉6施設で検査を実施し、防火予防の推進をはかった。また甲種防火管理者講習を賀茂地

区3消防本部合同で実施し、63人に修了証を交付した。

職員の研修状況

消防大学校へ1人を派遣した。

訓練実施は、9月静岡県総合防災訓練、12月地域防災訓練を実施した。

議案は、平成24年度補正予算(第2号)が歳入歳出9,765千円減額し、歳入歳出それぞれ753,387千円として可決された。併せて条例の一部改正6議案も原案通り可決された。

平成25年度予算総額は、歳入歳出それぞれ1,106,879千円と定め原案通り可決した。



新型救急救命車

伊豆斎場組合議会

2月19日、平成25年2月定例議会が下田市で開かれた。管理者の楠山市長の行政報告。議案第1号として静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更について。議案第2号は平成25年度伊豆斎場組合会計予算が上程された。議案第1号については、静岡県市町総合事務組合から西伊豆広域消防組合が脱退するとともに併せて規約の変更が審議され議決された。

議案第2号は、平成25年度伊豆斎場組合会計予算が上程され、歳入歳出の総額はそれぞれ、33,502千円で前

年比、1,032千円の増。河津町の負担金は、4,264千円である。

東河環境センター議会

2月19日、平成25年第1回定例会が開かれた。議案第1号として、条例の一部を改正する条例。技術管理者の資格条文と持込ゴミの有料化が示された。議案第2号として、静岡県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更が提示された。議案第3号として、平成24年度会計補正予算(第2号)が提示された。ゴミの減少に伴う手数料収入の減額と処理費用の減額が審議された。議案第4号として、平

成25年度東河環境センター会計予算が提出された。歳入歳出それぞれ665,109千円(前年比2,191千円増)である。河津町の分担金は、し尿処理分25,829千円、ごみ処理分209,201千円である。し尿・ごみともに処理量が増加すると予測され、分担金も前年比3,167千円増となる。歳出の主な費用は、焼却炉の補修工事や修繕費及びし尿処理施設などである。ごみ処理稼働から、10年を迎えるにあたり、焼却施設精密機能検査報告書を受け、地域計画策定に向けての予算を組み入れた。

それぞれが審議され、原案可決承認された。

下田メディカルセンター議会

管理者事業報告

①下田メディカルセンターの運営状況について

5月から1月までの入院患者数15,961人、外来患者数38,190人(1日平均173人)、救急患者2,792人、現在スタッフは常勤医師10人、非常勤医師31人看護師68人で運営。

②平成25年度病院事業会計予算について

利用料金制で執行。安定した経営軌道に乗せるため、経費節減及び効率化に努めた予算編成とした。

③平成25年度介護老人保険

施設事業特別会計予算について

本会計には、歳入歳出それぞれ3,010万円を計上した。

一般質問は、藤井廣明議員(東伊豆町)・今後の病院運営の見通しについて。山田直志議員(東伊豆町)・これからの病院運営について。をそれぞれ質問した。

< 議案 >

○報第1号 専決処分の承認(指定金融機関の指定)

○議第1号 監査委員条例の一部改正

○議第2号 病院事業の設

置に関する条例の一部改正

○議第3号 地方公共団体の数の減少に伴う規約の変更

○議第4号 平成24年度病院事業会計補正予算

○議第5号 平成25年度病院事業会計予算

○議第6号 平成25年度介護老人保険施設事業特別会計予算

(以上承認及び可決した)





川下 英一 議長

議会の動き

<議長の活動>

- 1月・郡議会議長会
・地方議員連絡協議会
研修会
- 2月・県議長会総会

12月～2月

- ・例月出納検査報告書の受領
(11・12・1月分)

<町議会の活動>

- 1月・伊豆半島ジオパーク
情報交換会(伊東市)
- ・議員月例会
(委員会条例などの改正について)
- ・東伊豆町との議員交流会
- 2月・議員説明会
・議員月例会
- 3月・議会運営委員会
・議会広報委員会

<一部事務組合>

- 2月・下田地区消防組合議会議員説明会、全員協議会、議会
- ・伊豆斎場組合議会
- ・一部事務組合下田メデイカルセンター議会

<町の行事>

- 12月・田中バイパス開通式
- 1月・消防団出初式
・成人式
・新春産業経済懇話会
- 2月・桜まつり
・白馬村村号来町
・平安の仏像展示館落成式

～私も一言～

花のまち かわづにむけて

JA伊豆太陽 鳥澤正義

花といで湯の町、河津町に今年も早春を告げる河津桜が綺麗に咲き乱れ、観光客と町民の心を和ませました。また、わが町にはバガテル公園やかわづカーネーション見本園・花菖蒲園と観光施設もあり花の町をアピールしています。

花卉栽培は町の大きな産業の一つです。下河津地区を中心に施設を活用し多種多様な花卉が栽培されています。カーネーション・金魚草・花菖蒲・マーガレットといった主流品目とカンガルーポー・カンパニュラ・花麦などの新しい品目も導入されています。

JAでは営農事業として栽培指導や生産された作物の販売を行っており、花卉はJAの主力品目となっています。河津の花卉は京浜花卉市場において優良な産地として評価が高く、小売店からも信頼されています。

本年1月に開催された第62回関東東海花の展覧会花卉品評会において上峰鈴木顕一氏の

金魚草「雪姫」が金賞一席農林水産大臣賞を受賞しました。2度目の受賞で栽培技術と出品技術の高さが証明されました。

カーネーションは、県内生産量1位を誇っており、高い栽培技術を持った生産者により生産されています。品種が多く多彩な花色があり、その年流行の品種を見極め、素早く導入するために見本園も活用されています。また各品評会においても上位入賞しています。

平成26年1月23日～24日には第52回全国カーネーション静岡県大会が河津町・東伊豆町において開催される計画があります。県・町・JA・県花卉連カーネーション部会が全国生産者を当地に迎え盛大に開催できるよう準備を進めています。現地視察では、町内のカーネーション圃場と見本園、バガテル公園も見学コースとなっています。このように、河津桜だけでなくカーネーションでも全国にわが町をアピールしています。私もJAの活動の中でもっと河津町をアピールし貢献したいと考えています。

● (訂正) 第56号、道路水道関連事業の設計業務委託費 (誤) 7,650千円は(正) 7,560千円 ●